



日本共産党文京区議会議員  
まんだち幹夫通信  
2011年 秋号

# 「みなさんをいつもまんなか」

■区議団控室：5803-1317 (直通) **なんでも気軽に**  
■事務所：文京区小石川2-23-7 **ご相談ください**  
Tel・Fax 3868-8355  
メール：mandachi@jcp-bunkyojudan.gr.jp

本会議で  
代表質問

## 住民が望む建物高さに 基金の有効活用で福祉・子育てに



本会議で質問するまんだち幹夫区議。= 9月12日 本会議場

**高さ制限案**  
9月12日の区議会本会議、代表質問の最初に取り上げたのが、「絶対高さ制限」の第一次案についてです。  
私は、区が高さを指定する目的に掲げた◆良好なまち並み景観と秩序ある市街地◆突出した高さの建築を抑制し、近隣紛争の防止◆高さ制限で良好な住環境に―が、「指定容積率が活用できる高さ」を指定方針の中心にする方法では、その目的に反することになると指摘し、全体として高さを下げよう求めました。  
大事なのは、この間の区内の建築紛争を検証し、その紛争地域の実態を調

べ直すことです。その立場からすれば、白山通り沿道の47m(15階相当)、千川通りや中山道の32m(10階)は、高すぎます。また、町中でも地域によっては22m、これでは高い建物の容認、誘導にはかなりません。また、区民説明会の知らせ方も、8月末に新聞折込みで配付された「区報ぶんきょう特別号」だけで、あまりに不親切です。区案の見直しを求めます。

### 区の財政は、ほんとうに「厳しい」？ 昨年度は74億円も貯金積立てたのに

「厳しい区財政のもと」…何かといえどこんな枕詞が使われます。しかし、この間の特別区税や特別区への交付金の順調な伸びで、2000年から2010年までに、273億円をシビックセンター建設などの区の借金返済にまわしながら、基金(貯金)には407億円も貯め込みました。昨年度は年間だけでなんと74億円も基金を積み増しです。

特別区税の当初予算額と決算額の推移

平成	予算	決算	差
22年	261	272	11
21年	278	296	18
20年	267	288	21
19年	263	282	19
18年	257	293	36
17年	228	266	38
16年	228	247	19

単位億円 以下切り捨て

◆区立、認可保育園の建設。◆学校の施設の改修、トイレの洋式化やクーラー設置、プール(青藻や苔が生えた)の改修を―など求めました。

### 「もう払えない」国保料値下げを

―「親2人、子4人 住民税非課税世帯で去年は91,800円、今年184,857円。こんなに保険料を払っていたら生活していけない。払えない」―7月から国保料の算定方式が変わったため、扶養家族がない世帯など負担増となりました。収入が増えないのに上がった場合は「区の負担で補てんを」と提案しました。



### 除染、賠償に「原発予算」を 日本共産党が(新)提案

- ①すでに4.8兆円、今後19兆円にも積み立てる「使用済み核燃料再処理等引当金」などを「原発賠償・除染基金」とし、震災復興財源とは別にすべき。
- ②「安全神話」を振りまきながら原発事業を推進してきた企業の内部留保金を、財源資金として拠出を。「庶民には増税、大企業には実質減税」の見直しを。



区議団の放射線測定

**こんな低い額で、大丈夫？ 入札制度の改善を**  
現在工事が進む、第六中学校の改築工事請負契約を見て、びっくりしました。区の予定価格は約28億円(本体工事)。落札額は約19億円! 準大手の戸田建設をはじめとする共同企業体が、他を大きく引き離しての落札でした。低入札価格調査委員会にかけられましたが「問題なし」。理由は、躯体部分は金額の差はないが、その他の資材が大手であるため

### こんな低い額で、大丈夫？ 入札制度の改善を



※詳しくは、区役所地域整備課住環境整備担当(5803-11374)に問い合わせを。

### 石巻で震災復興 ボランティアに参加

8月5・6日、石巻市で墓地の瓦礫撤去作業に。墓石は倒れ、家財の瓦礫や製紙工場のパルプ原料が一带を覆っています。撤去作業している目の前の町は、町ごと津波にさらわれ、何もありません。埋葬されているお骨までめっちゃくちゃに―およそこれまでの常識では考えられなかったことです。どうしたら一人ひとりの暮らしを守れるのか…災害支援、そして今後の防災。

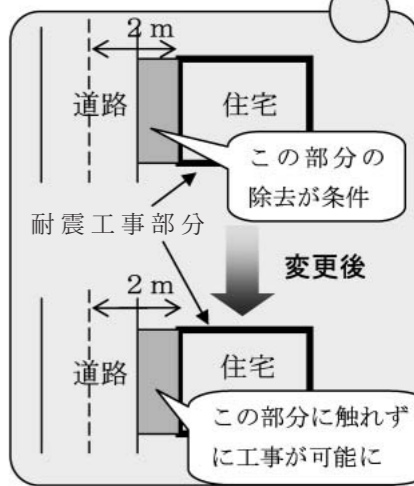


「街なか」に立つ復興の誓い(上) 墓地の瓦礫出し(右)

### 木造住宅の耐震改修工事 制度が活用しやすくなりました

東日本大震災を踏まえ、区の木造住宅の耐震改修助成制度が拡充されました。  
これまで4m未満の道路(細街路)に接している住宅の場合、建物の一部を解体し道路を拡幅しないと耐震工事の助成は受けられませんでした。そのため耐震化工事は進まず平成27年度末までに耐震化率を90%にするという区の目標も実現の見通しが立っていませんでした。少なくとも一方が、「この制度では耐震改修工事ができない」とあきらめざるを得なくなりました。

「この間の要望が実現しました!」  
なっていたのです。今回、区は「細街路に突出した部分に触れず」に工事を行い、一定の要件を満たせば助成を行うことに踏み切ったものです(下図参照)。  
工事の助成額は、工事費の1/2以内で上限100万円(高齢者宅は1/4、200万円)、「細街路」は、上限70万円(高齢者宅は140万円)です。



安く手に入るからです。さらに予定価格が安くなれば、中小企業はまったく太刀打ちできません。日常から災害時の応急工事や、地域へ貢献している地元企業を守り仕事を確保する立場が、区として必要です。官公需から入札制度の見直しを求めいきます。

### まんだちの かけ算の記

- ◆8月15日 終戦記念日。正午から源覚寺さん境内での「汎太平洋の鐘」のイベントにおじゃましました。午後、乃南アサの「じゃぼん玉」を読みました。心洗われ感動しました。
- ◆9月9日 議会運営委員会が10月17日までの会期を決定。午後から全員協議会、議案付託のための本会議が開かれました。議員提出議案も2件、賛同議員と共同提案しました。
- ◆9月17・18日 秋の祭り。おとな神輿を担ぎました。翌、翌々日と肩足が張り詰め筋肉痛に襲われます。しかし、心地いいのが救いです。
- ◆10月18日 議会広報小委員会出席。「区議会だより」の文章や写真を決めます。発行日は11月10日です。